

# 武蔵野市立男女共同参画推進センター

ヒューマンあい だより

# そよ風

Vol.55 2016年12月

## Contents

トピックス(センターの愛称とシンボルマークについて) .....	①
講座報告 .....	②~④
新着図書案内 .....	⑤
講座予告と各種利用案内 .....	⑥



## TOPICS<sup>S</sup> センターの愛称とシンボルマークについて

**武**蔵野市立男女共同参画推進センターです！  
この10月1日より市民会館1階に移転し、「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」から名称も変わり新たにオープンしました。

シンボルマークです。



本年8月15日から9月14日まで愛称とシンボルマークを募集した結果、愛称13点(11人)、シンボルマーク9点(5人)のご応募をいただきました。審査委員による厳正な審査の結果、次の通りとなりました。センターオープンの10月1日のセレモニーで発表され、市長より製作者に感謝状と記念品が授与されました。



▲向井一江さん ▲邑上市長と荒俣さんの妹さん(代理出席)

男女が性別に関わらず平等な立場であることを表現するために左右対称とし、三角形を男女に見立て、重ねることで互いに手を取り助け合うことの大切さを表わしています。また、緑色のカラーは「緑豊かな」武蔵野市をイメージしています。  
(市内在住 荒俣琢椰さん作)

愛称は「ヒューマンあい」です。

「ヒューマン」には、性別にとらわれない多様性の視点が、「あい」には、愛、会い、眼(まなこ)の意味が込められています。「ヒューマン」と「あい」を重ねた「ヒューマンあい」が、地域の住民の人権をまもり、男女平等を推進し、人々との出会いの拠点施設になるよう命名されました。  
(市内在住 向井一江さん作)

これを機に更に誰もが気軽に立ち寄れる親しみのあるセンターを目指します。1月からは女性総合相談もスタートします。これからも「ヒューマンあい」をどうぞよろしくお願いいたします。



## センターオープン記念講演会 一人ひとりの今、そして未来に輝きを！ わたしたちの男女共同参画と推進センターを考える



- 日時 2016年10月1日(土) 14:00~16:00
- 会場 男女共同参画推進センター会議室
- 講師 萩原なつ子さん(立教大学社会学部/大学院21世紀社会デザイン研究科・教授)

平成10年に男女共同参画社会の実現に向けた具体的な施策を推進する市の拠点として開設された「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」はこの10月1日に「男女共同参画推進センター」と改称して、市民会館に移転しました。移転を記念し、講師に立教大学の萩原なつ子さんをお呼びし、武蔵野市民一人ひとりにとって男女共同参画とは何か、そして地域における男女共同参画センターのあり方を考えました。

萩原さんご自身の就職活動や就労経験、そして生き方を通じて男女共同参画の課題をいくつもの替え歌で示し、誰にもわかりやすく、かつ興味深くお話をいただきました。

男女共同参画社会とは、人が社会に参加しながら自分らしく暮らすこと、男女を問わず暮らしやすい社会を作ることであり、縦ではなく横串で人々がつながっていくことが重要と述べられました。そして男女共同参画センターは、女性の経験に基づく視点をはじめ、様々な人の意見を聞き、未来世代のために今私たちが何をすべきなのかを学び変革を起こしていく拠点でありたいと締めくくられました。

この日は新たなセンターオープンの日でもあり、セミナーに引き続き、当講座にも一般市民の方々をはじめ、男女共同参画を推進する団体の方々、また市議会議員の方々の参加もあり熱気に満ちたスタートとなりました。

### 参加者の声

▶楽しく大笑いしながら目からウロコでセンターの新しいスタートにふさわしい話を聞きました。(70代女性) ▶お話が楽しく、男女共同参画の意味がよくわかりました。▶子供たちが社会に対して当たり前活躍し、貢献するよう育てて欲しい、育てたいと思います。(30代女性)



## もっと伝わる☆ 輝くコミュニケーション ～心理学メソッドで分かるあなたの個性と“伝えるチカラ！向上法～

- 日時 2016年7月30日(土) 9:45~11:45
- 会場 武蔵野スイングホール 10階スカイルーム
- 講師 橋本暢子さん(ニューヨーク州メンタルヘルスカウンセラー MBTI®認定ユーザー)

人にクセがあるように、伝え方にもクセがあります。こう言われてエッと思った方、居ませんか？ユングの心理学をベースにした性格分析ツールMBTI®を使って、コミュニケーションのクセを解明するこの講座、定員を50%オーバーするお申込みがありました。

講師はMBTI認定カウンセラーであり、ニューヨーク市立大学に勤務する橋本暢子さん。

隣り合った人と数々のワークをこなしつつ、最後に自分のコミュニケーションの強みと弱み分かるダイナミックな講座でした。相手の好みやコミュニケーションの傾向を予想することで、円滑で心地よい人間関係を築くきっかけになり、自分のストレスレベルも下がる、このことに「目からうろこが落ちた」という感想を多数頂きました。



▲ワークの間に参加者に声をかける橋本さん

### 参加者の声

▶職場や家族との日々のコミュニケーションについて悩んでいたもので、今回のセミナーは自分のタイプを知り、周りとのかわり方を見直すとても良いきっかけになりました。(40代女性) ▶“相手のアンテナを開く”という言葉が印象的でした。(40代女性) ▶自分とは異なるタイプの人々の考え方・感じ方に近づくことができた。(40代女性) ▶若い人とのワークショップが楽しかった！(60代以上女性)



## わかっちゃいるけどやめられない、 “男”働き ～やはり仕事も子育ても両方したい～



○日時 2016年10月29日(土) 13:30~15:30  
○会場 センター会議室  
○講師 田中 俊之さん(武蔵大学社会学部助教 男性学・キャリア教育論)

▲ワークショップでは熱心に話し合いました。

**新**進気鋭の「男性学」者、田中俊之さんを講師に招いて仕事と子育ての両立を主眼に“男のこれから”を考えました。

田中さんが研究している「男性学」は、男性が男性であるがゆえに抱える悩みや葛藤が対象です。例えば男性の自殺者は、女性の2倍以上です。男であるがゆえに自死していると考えられています。

男性の「働きすぎ」に関して、それが問題だと思われていません。仕事が無いよりは忙しく働いている方が安心ということであっても、働きすぎを心配しなければいけないと田中さんは警笛を鳴らします。

**参加者の声** ▶プロポーズの9割が男性から、という部分で完全に恋愛が「男社会」と感じた。  
▶ワーク・ライフ・バランスを「仕事と生涯のバランス」ととらえることが印象に残った。▶グループワークが良かったです。周りの人の良い意見が聞けました。  
▶このような活動は企業でもやっていただきたい。夫婦で参加すればよかったと思いました。

『この社会では男性は「働く」ということとの結びつきが強すぎるのです。男性が抱えている最大の問題は、多くの男性は養育費やローンのために働き続けるしかなく、加えて家事・育児もとなると少し厳しすぎるのではないのでしょうか。私たち、男性は4つの「領域」を持つべきです。収入を得る「職業領域」、自分の住んでいる「地域領域」、日常生活を共有する「家庭領域」プライベートな「個人領域」。これらに目配りができる人を「社会人」と呼ぶべきです。』と田中さんは言います。

男性は、「用件伝達型コミュニケーション」から話すために話すといった、楽しい無駄話のような相手の共感を目的とした「関係形成型コミュニケーション」へと転換する必要があると田中さんは力説されました。

最後に自分と考えが違う人と積極的に交わっていきこうという気持ち、開放性を持つこと、敬意を持つことが、これからの社会では大事であり、地域に住む様々な人がお互いを認めてどのように助け合っていくかが重要だと話されました。

## ディズニーアニメのヒロインに学ぶ メディアリテラシー

○日時 2016年11月26日(土) 10:00~12:00  
○会場 センター会議室  
○講師 国広 陽子さん(元東京女子大学教授)



共催：むさしの  
男女共同参画市民協議会

**新**旧多様なメディアが共存する今日、私たちが男女平等社会の実現に欠かすことが出来ない能力(リテラシー)は、メディアから送り込まれる情報の特性を理解した上で、ジェンダーとの関係を知り、正しく情報を表現・発信して、メディアのあり方を考えて行動していく、ということです。

今回の講座では、娯楽の分野に焦点を当て、ディズニーアニメのヒロインから、人気テレビドラマの主人公や脇役、学校教材までも話題として取り上げ、メディアがどのように作られ構成されているのか、私たちの現実認識がどのように作られているのか、とても分かりやすく解説していただきました。

後半は「ディズニーのヒロインはどう変化したか」のテーマで白雪姫とシンデレラの違いを読みとり、ミニ・ワークを行いグループごと発表することで、参加者同士が知識を確認し合うこともできました。

ここで示された視点は、メディアは、担当者のジェンダー感がそのまま出る、といったメディア組織の構造に加え、見る人が喜ぶように時代や国のイデオロギーが反映されて作られており、作品を比較することで考え方の変化を見ることができました。これは参加者一同とても新鮮な発見でした。

さらに、日本が国連の女性差別撤廃委員会からの勧告にも拘わらず、女性とメディアの分野で進展がないとの話もありました。メディアの自発的な改善を待つのではなく、視聴者がリテラシーをもってメディアを変えていくような行動が不可欠であるという国広さんの言葉に、ただ娯楽としてメディアを見聞きするだけでなく、もっと深い力をもって接していくことが必要であることを改めて感じ、私たちが変えていけるのだという前向きな気持ちを持つこともできた有意義な2時間でした。

**参加者の声** ▶時代順で改めてみると女性像の変容が実に面白かったです。アニメの新しい見方ができました。(20代女性)▶時代背景と内容を深く考えるきっかけになった。(40代)▶視点を変えて物事を見る面白さを勉強できました。(30代女性)▶メディアにより操作されている事とか、時代の投影を読み解く面白さなど、ジェンダーの考えの中でのメディアの読み解きが大変良かった。(50代女性)▶作られているものを見ているということ意識すること、その中に楽しみもあるということが印象に残った。(50代)▶ディズニー映画を通してジェンダーの理解が深まりました。(50代女性)

## 「女性に対する暴力をなくす運動」連動講座



女性に対する暴力根絶の  
シンボルマーク

### ① 家庭内モラルハラスメント ～子どもと自分自身を守るために～

○日時 2016年11月12日(土) 10:00~12:00

○会場 武蔵野商工会館 ゼロワンホール

○講師 本田 りえさん(臨床心理士)

**女**性に対する暴力をなくす運動の連続講座第一弾は、「家庭内モラル・ハラスメント」。昨年も大きな反響があった本田りえさんの講座。今年はモラハラについての基礎知識に留まらず、子どもへの影響についてお話を進めて頂きました。

家庭内のモラハラは夫婦間だけではなく、親から子どもへのモラハラも存在しますが、両者の根底に共通してあるのは支配関係です。モラハラがある家庭で育つ子どもへの影響、子どもの示す反応、別居・離婚後の母子関係回復のための行動療法のお話まで、最新の情報やデータを交え丁寧に説明して頂きました。

質疑応答の際や講座終了後に、ご自分のケースについて、先生やスタッフに話してくださる方も多くおられました。

**参加者の声** ▶自分の状況に重ねてみたとき、ずばり言い当てられている事柄ばかりで涙が出そうになる場面があった。▶子どもへの影響について、具体的な対応策も挙げて下さっていたので納得できた。▶今は離婚しているが恐怖心はとれない。自己愛がなくなってしまった理由がわかった。▶何が大切か「自分で選択する」ということを伺い、はっとさせられた。

### ② DV離婚と子ども ～知っておきたい法律のこと～



○日時 2016年11月19日(土) 10:00~12:00

○会場 センター会議室

○講師 露木 肇子さん(多摩総合法律事務所 弁護士)

**女**性に対する暴力をなくす運動の連続講座第二弾は、「DV離婚と子ども」。講師は長年、DV被害者支援に携わってこられた第一線の弁護士、露木肇子さんです。こと家庭内DVが背景にあるとき、被害者である方の親は、より複雑な親子関係を抱えることとなります。然し、刻々と変わる法制度を味方につけるのは容易ではありません。この講座は、DVによる別居・離婚について、まず基礎的な事項をおさらいした上で、現行法制度の問題点・注意点に触れるという進め方で、高度ながら非常に分かり易いものでした。

露木さんの講座は昨年に続き2度目ですが、毎回、その熱意に動かされるという感想をいただきます。詳細な資料も好評でした。

**参加者の声** ▶DVとはどのようなものか具体的にわかった。「モラハラ」は分かりにくく、自分が我慢すればよいと思っていました。▶法律家の立場から制度の実態を具体的に説明して下さったのが分かり易かった。▶先生の大変深い被害者の心理の理解とエネルギーが特に印象に残った。▶DV・モラハラに強い弁護士さんを(世の中が)もっと認知してほしい。

### シネマプレイス～ちょっとフリートーク 映画『フレンチアルプスで起きたこと』

○日時 2016年11月20日(日) 14:30~17:00

○会場 武蔵野プレイス フォーラム

**映**画鑑賞プラス参加者同士でフリートークを楽しむ企画を“武蔵野プレイス”と共催で開催。プレイスの定例イベント「シネマプレイス」に、2015年カンヌ映画祭「ある視点」受賞作品『フレンチアルプスで起きたこと』が登場し、75人の参加者を集めました。

このスウェーデン映画は全米でも議論を巻き起こした“家族”の問題作。主人公の行動をきっかけに、彼の男性・夫・父としての枠組みが大きくゆらぎ、また

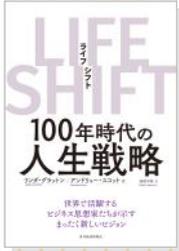


それを受けて妻や子ども、友人夫婦までが今まで自分が描いていた家族像の脆さを目の当たりにして動揺することになります。

ハラハラしっぱなしの2時間の鑑賞後、ココアを片手に“トーク”参加された方々からは、率直で味のある意見が多数出され、「違う世代の人とこうして話す機会が日頃ないので嬉しい」「映画という共通体験があるから話しやすい」という嬉しい声を頂きました。

共催：(公財)武蔵野生涯学習振興事業団

ヒューマン・あいの新着図書よりおすすめの本



誰もが人生100年を生きる時代がもう目の前に来ています。前作『ワーク・シフト』で“これからの働き方”を俯瞰した著者が、本作では人生100年時代の“生き方”を提案します。100年生きるなんてうんざり・・・と思っている方にこそ、おすすめ。

ライフ・シフト 100年時代の人生戦略  
リンダ・グラットン著 (東洋経済新報社)



昨年『みんなの学校』として映像化され、ドキュメンタリーやテレビ版で大反響を得た、不登校児ゼロの公立小学校の教育とは？ 違いを認め、共に学び生きることの意義と、これからの時代に求められる“教育”の本質に迫る、初代校長木村さんの感動の著作。

みんなの学校が教えてくれたこと  
～学び合いと育ち合いを見届けた3290日  
木村 泰子 著 (小学館)



元朝日新聞編集委員、アフロヘアと超節電生活がメディアで反響を呼んだ稲垣えみ子さん。彼女の退社後の生活はズバリ、“依存フリー”。社員時代の人間関係、お金、生き方を縛る価値観、電気・ガスまで、いろいろ見直したら、いかに自由になれたのか、代わりに何を見出したのか。率直で素朴な語り口が魅力。

魂の退社 会社を辞めるといふこと  
稲垣 えみ子著 (東洋経済新報社)



『逃げるは恥だが役に立つ』  
①～⑧入荷！  
人気ドラマの原作コミック。  
契約結婚、非正規雇用、  
性別役割意識や男の自尊心等々、リアルな論点満載。  
ほかにも、国内外のジェンダー研究機関表彰の受賞作品、『なのはな』(萩尾望都)、『大奥』①～⑬(よしもとふみ)等、良作をそろえています。

## ●他にもこんな新着図書があります！

生きづらさからの脱却	岸見 一郎	筑摩選書	2015
夫に死んでほしい妻たち	小林 美希	朝日新聞出版	2016
男という名の絶望	奥田 祥子	幻冬舎選書	2016
介護離職しない、させない	和気 美枝	毎日新聞出版	2016
子どもの貧困が日本を滅ぼす	子どもの貧困対策チーム	文春新書	2016
「専業主夫」になりたい男たち	白河 桃子	ポプラ新書	2016
戦争は女の顔をしていない	スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ	岩波現代文庫	2016
そして〈彼〉は〈彼女〉になった	細川 貂々	集英社	2016
誰が星の王子様を殺したのか モラル・ハラスメントの罠	安富 歩	明石書店	2014
マタハラ問題	小酒部 さやか	ちくま新書	2016
ルポ貧困女子	飯島 裕子	岩波新書	2016

## 報告

＜パネルで参加しました＞  
センターでは今年もイベントにパネルで参加しました。

- 平成28年度「東京ウィメンズフォーラム」  
11月11日・12日 東京ウィメンズプラザ
- 第15回子育てフェスティバル  
10月29日 武蔵野市役所8階
- DV防止パネル展  
女性に対する暴力をなくす運動（毎年11月12日～25日）の一環として、11月12日(土)～17日(木)武蔵野プレイスギャラリーで、11月18日(金)～24日(木)市民会館ロビーで、11月25日(金)～12月2日(金)市役所ロビーで行いました。

＜バス研修＞ 「男女共同参画推進団体交流会」  
○日程 平成28年10月27日(木)  
○行程 いずみ寮 日本銀行貨幣博物館 他

要望の多かったベテスタ奉仕女母の家婦人保護施設「いずみ寮」の見学を中心にして男女共同参画推進団体の交流会を行いました。いずみ寮では横田施設長から施設の様子や長いご経験の中から施設をとりまく社会の変遷などお話を伺った後、施設内を見学をさせていただきました。

参加者からは胸がいっぱいになった、施設職員の方のご苦労が伝わってきたなどの感想が寄せられました。日本銀行貨幣博物館、築地見学など充実した内容の1日となりました。



# 講座予告

詳細は市報または、センターHP  
でご確認ください！

## ◆一票の重み・生活と政治はつながる いま伝えたい 若者と女性へ『PTAから政治の道へ 小池順子のメッセージ』上映会とトーク

◇日時：1月28日（土）13:30～16:00  
◇会場：武蔵野商工会館 ゼロワンホール  
◇講師：小池 牧子さん（『まなこ』元編集長）

PTA活動を機に政治の道へと歩んだ明治生まれの小池順子さんが語るDVDを見て話し合います。信念と行動の成果と一緒に体験しませんか。

## ◆講演会「ひとり親家庭と地域のチカラ」（仮）

◇日時：2月11日（土）10:00～12:00  
◇会場：センター会議室  
◇講師：赤石 千衣子さん

（しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長）

現在、ひとり親家庭の2人に1人が貧困に陥っています。行政・地域・個人が少しずつ、心と“チカラ”を持ち寄ることで何ができるか、他の地域の具体例をもとに考えていきます。

## ◆シングルマザー座談会～お金と制度～

◇日時：2月14日（火）10:00～12:00  
◇会場：センター会議室  
◇講師：森岡千恵子さん（子ども家庭課 自立支援相談員）

「子どもが大きくなったらどんなことにお金がかかるの？」  
「ほかのシングルマザーの人たちと話がしてみたい！」お金と制度をテーマに、同じ立場のみなさんと語り合います。他のテーマでもご自由にお話できます。

## ◆待機児童問題から女性の貧困を考える

◇日時：2月25日（土）15:00～17:00  
◇会場：武蔵野商工会館 ゼロワンホール  
◇講師：猪熊 弘子さん  
（ジャーナリスト/東京都市大学人間科学部客員准教授）

## ◆取材と書くことのレッスン

～市民の目で、見て、聞いて、書いて～

◇日時：2月3・10・17・24日（金）10:00～12:00  
◇会場：センター会議室  
◇講師：中村康子さん（『くらしと教育をつなぐWe』編集長）

わかりやすい文章を書くコツや、取材・編集の仕方等を学び、書くことの楽しさを味わう講座です。受講後は「まなこ」サポーターになり、200字コラムを執筆してみませんか？

## ◆二足のわらじで自己実現！“社会的複業”のススメ

◇日時：2月18日（土）14:00～16:00  
◇会場：武蔵野商工会館 ゼロワンホール  
◇講師：芦沢 壮一さん（スキルノート代表）

「柔らかな働き方」としての二足のわらじの魅力を知り、自らも実践を開始するきっかけづくりの講座です。

## ◆小さい子どもを持つお母さんのための講座

◇日程：2月21・28日・3月7日（火）（全3回）  
◇時間：10:00～12:00  
◇会場：センター会議室  
◇講師：荻野 佳代子さん（神奈川大学教授）

現在でも育児や家事などケアの役割は女性が担うことが当たり前とされている。子どもは可愛い、育児は楽しいと思いつつも、なぜ私だけが社会と切り離されているのか。女性学の考えを学びながら、不安やイライラの要因を探し、当たり前と考えられていたことを問い直し、家族との関係性やライフキャリアプランなどを学びます。

先進国の中で群を抜いて貧困率が高い日本。特に単身女性の三人に一人が貧困です。解決するには就労継続は必須条件。待機児童問題は、親だけではなく社会が解決しなければならない問題なのです。貧困を減らし、働く母親が安心して働ける、住みよい街になるにはどうすればよいのか考えます。

## ● センター利用案内 ●

開館時間：9:00～22:00  
休館日：木曜日・年末年始  
会議室利用時間：《午前》9:00～12:00  
《午後》13:30～17:00  
《夜間》18:00～22:00

●会議室は有料・予約制（詳細はお問い合わせください）●

●交流コーナーはどなたでもご利用いただけます●

## ● 発行 ●

武蔵野市立男女共同参画推進センター ヒューマンあい  
武蔵野市境 2-3-7 市民会館1階  
電話：0422-37-3410 FAX：0422-38-6239  
E-mail：danjo@city.musashino.lg.jp

## ご存知ですか。『まなこ』

武蔵野市の男女共同参画の情報誌です。No.98が今月発行されています。今回のテーマは「家庭内モラル・ハラスメント」です。当センターをはじめ市役所、市政センター、図書館、コミセン、市内3駅等約450か所に置かれています。是非手に取ってご覧ください。

## 男女共同参画推進センターでも女性総合相談が受けられます。(① ②は1月からスタート)

### ■女性総合相談…1回50分面談または電話、予約制

- ①第1土曜日（13:00～ 14:00～ 15:00～）
- ②第3月曜日（19:00～ 20:00～ 21:00～）
- ③第2木曜日（10:00～ 11:00～）
- ④第4火曜日（13:00～ 14:00～ 15:00～）

### ■ひとり親家庭・女性相談

- ⑤月～金曜日（9:00～17:00祝日・年末年始を除く）

### ★場所・問い合わせ

- ① ②：武蔵野市立男女共同参画推進センター  
（市民会館1階） ☎37-3410
- ③ ④：市民活動推進課市民相談係（市役所西棟7階）  
☎60-1829
- ⑤：子ども家庭支援センター  
☎60-1850

秘密  
厳守

無料